

2023 年度 学校を核とした地域づくり講座 第2回(9/10)  
グループワークまとめ

以下の 2 つのテーマについてグループごとに意見交換。氏名(敬称略)。

- 1.印象に残った言葉
- 2.学びや地域づくりを支える図書館になるために、連携・協働によってできることは？

グループ①

印象に残った言葉	学びや地域づくりを支える図書館になるために、連携・協働によってできることは？
<ul style="list-style-type: none"><li>・協働が不可欠</li><li>・市民とともに作る図書館</li><li>・もみわ広場(もちより・みつけ・わけあう)</li><li>・循環</li><li>・自分たちが自分の意見をいう場をつくる</li><li>・瀬戸内かるた</li><li>・図書館が中心</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・より多くの市民に利用、情報提供できる場所づくり</li><li>・移動図書館の整備</li><li>・企業×図書館 行政にはない視点で</li><li>・横のつながりづくり</li><li>・集めること</li><li>・発信すること</li><li>・団体貸出の充実</li><li>・出張サービス</li><li>・おはなし会</li><li>・ブックトーク</li></ul>

グループ②

印象に残った言葉	学びや地域づくりを支える図書館になるために、連携・協働によってできることは？
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民とともにつくる図書館</li> <li>・自分の居たい場所</li> <li>・中高生の意見を聞く</li> <li>・未来ミーティング</li> <li>・学校と地域の連携を支援する公共図書館</li> <li>・市民の期待への対応には協働が不可欠</li> <li>・公の図書館司書と学校連携</li> <li>・自分のことを自分で決められる・・・図書館の役割</li> <li>・司書を学校図書館へ派遣</li> <li>・「経験」から得た好奇心を動機付けにして「資料」という「知」から学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が必要とする図書館</li> <li>・住民参加の地域づくり</li> <li>・図書館に求められている役割を話し合う</li> <li>・「もちより」ができる場の設定</li> <li>・地域の行事を学校図書室で行う</li> <li>・学校図書館への司書の派遣</li> <li>・学校図書の開放</li> <li>・学校内図書システム(バーコード処理)の統一。ボランティアで。</li> <li>・友の会をつくる</li> <li>・水分れ FM 資料活用</li> <li>・春日資料館平和学習利用</li> <li>・社会教育・文化財課との連携。「昔道具パック」図書室の貸出。</li> </ul>

グループ③

印象に残った言葉	学びや地域づくりを支える図書館になるために、連携・協働によってできることは？
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の重要性、役割</li> <li>・公共図書館と学校図書館の関わり</li> <li>・協働の役割</li> <li>・少子高齢化社会での社会の役割</li> <li>・健全な知識社会を支える</li> <li>・自治体の政策能力が停滞している</li> <li>・市民とともに作る図書館</li> <li>・図書館、持ち寄り、見つけ、分け合う</li> <li>・もちより、みつけ、わけあう広場</li> <li>・物事を決める能力</li> <li>・子どもも1人の市民</li> <li>・市民が居たい場所</li> <li>・市民の教育や文化に関わる活動ができる ところ</li> <li>・知の連携</li> <li>・機会を分けあう広場</li> <li>・アウトカムからサービスをデザイン</li> <li>・経験から得た好奇心を動機付けにして「資料」という「知」から学ぶ</li> <li>・大人こそが学ぶ</li> <li>・市民が夢を語る</li> <li>・市民がイメージする幸福・自己実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちがつくったと思えること</li> <li>・想いが広がる</li> <li>・利用回数、来館者が増える</li> <li>・世代間の垣根は下がる</li> <li>・地域住民の課題解決につながるコーディネート力</li> <li>・協議会や市民の参画</li> <li>・当事者意思をもたせる</li> <li>・誰でも意見、夢、想いが語れる合議の場</li> <li>・社会教育で培ってきたこれまでの文化が生き返ること</li> <li>・相談できる人がまずは居ること</li> <li>・多様な情報収集</li> <li>・語らいが増える</li> <li>・施策の共催</li> <li>・住民が自主作成する資料</li> <li>・住民による企画</li> <li>・住民のお宝企画</li> </ul>

グループ④

印象に残った言葉	学びや地域づくりを支える図書館になるために、連携・協働によってできることは？
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人的、集团的、自己決定能力の確立</li> <li>・カウンターへの本の返却時のつばやきがきっかけ</li> <li>・青少年や現役世代対象の場が少ない</li> <li>・市民がイメージする幸福・自己実現からはじめる</li> <li>・(学校)司書不在</li> <li>・市民ネットワーク</li> <li>・協働は市民の当事者意識を醸成し「住民自治」の理念を体現すること</li> <li>・自分の居たい場所と感じられる「場」を市民が主体的に考え意見を出し合い創り合える</li> <li>・「資料」という「知」から学ぶ。公立図書館は「地域の地の拠点」</li> <li>・代表制民主主義では、多様化複雑化する自治体課題を解決することが困難な時代に直面している</li> <li>・保健師</li> <li>・回想法</li> <li>・社会教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携・協働することで結果だけでなくプロセスや失敗も次につながることになる</li> <li>・住民の自己選択を何かしら入れ、お客様ではなくて参加者になる</li> <li>・マンガや動画</li> <li>・移動図書館</li> <li>・電子図書</li> <li>・知と人の交流拠点(ソフトとハード)</li> <li>・ネット社会における図書館の在り方</li> <li>・書店が減っている中、公立図書館の役割の見直し</li> <li>・サードプレイスになる</li> <li>・居場所を自分たちでつくる</li> <li>・知的醸成、交流の場になる</li> <li>・学校図書館の社会(地域)開放</li> <li>・学校図書館に公立図書館の支援の強化</li> <li>・コミュニティスクールの強化(学校教育と社会教育)</li> </ul>

グループ⑤

印象に残った言葉	学びや地域づくりを支える図書館になるために、連携・協働によってできることは？
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の期待に応えるためには、協働が不可欠</li> <li>・協働による図書館づくり</li> <li>・市民が自分の居場所の感じられる場を創り合える</li> <li>・課題解決につながる市民力・行政力</li> <li>・自治に参画すること自体が学習行為→生涯学習</li> <li>・生涯学習＝個人的自己決定能力の確立</li> <li>・図書館司書の役割って？</li> <li>・個人の心のなかに平和と精神的な幸福を達成するための必須の機関</li> <li>・公共図書館＝知識の生産を可能にする</li> <li>・図書館に虫を持ち込んだ子どもの話</li> <li>・「知る自由」「学習する権利」保障</li> <li>・11 学級以下の学校に司書教諭の必置が免除されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て学習センターのサークル活動</li> <li>・本を読む以外の動機で図書館を訪れるきっかけづくり</li> <li>・学校に行けていない子どもの受け入れ</li> <li>・市民プラザ→市民協働のあり方研修。市民活動団体、団体活動の紹介。</li> <li>・市民活動の発表の場(楽器・虫博士など)</li> <li>・丹波市図書館(6館)ならではの連携</li> <li>・自治の感覚を身につける、学習する場</li> <li>・読み聞かせボランティアとの連携</li> <li>・行政各部署、行政情報の周知</li> <li>・公共図書館と学校図書室のネットワーク</li> <li>・学校図書室の地域利用</li> <li>・地域学校協働活動推進員、学校支援コーディネーター、スクールサポートスタッフ→地域と学校を結ぶ</li> </ul>